

那須岳

概況(平成14年6月)

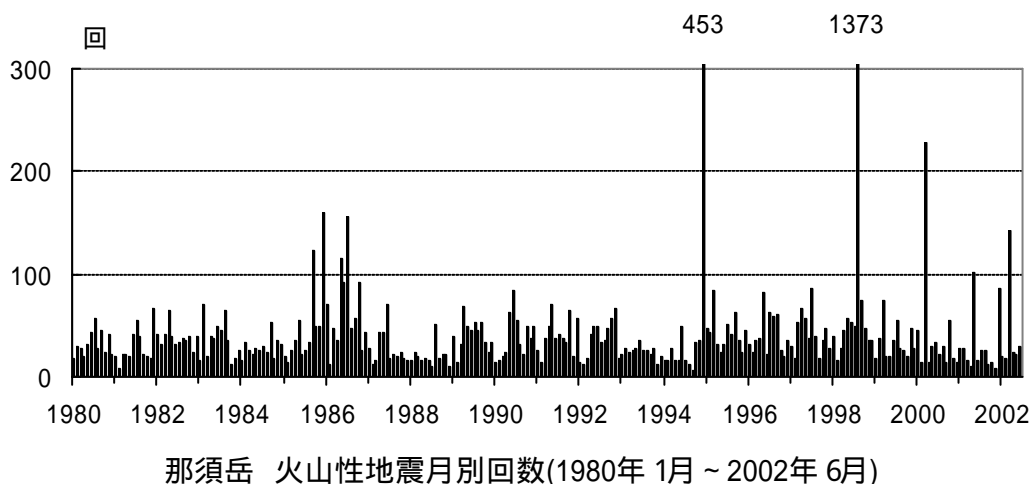
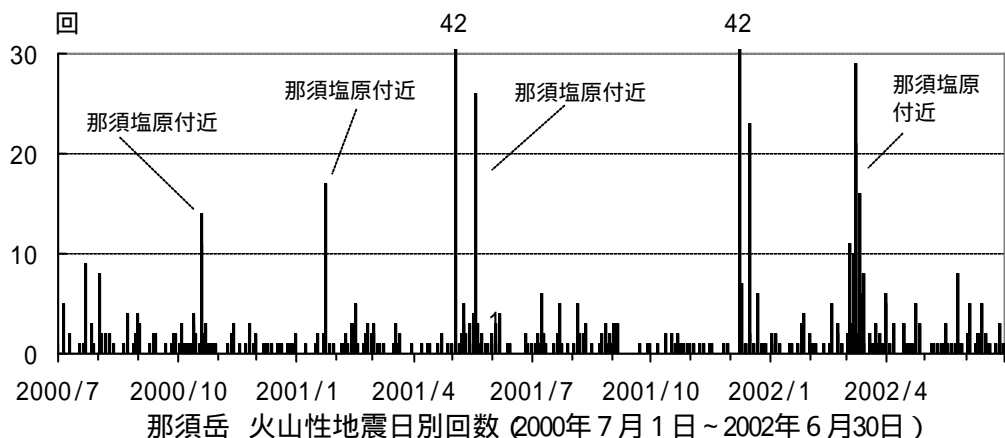
火山活動に特別な変化はなく、落ち着いた状態が続きました。

地震活動の状況

この2年の日別地震回数を見ると、那須塩原付近を震源とする地震を除き、昨年(平成13年)の5月・12月に日地震回数が増えた他は落ち着いた状態が続いています。火山性微動は観測されませんでした。

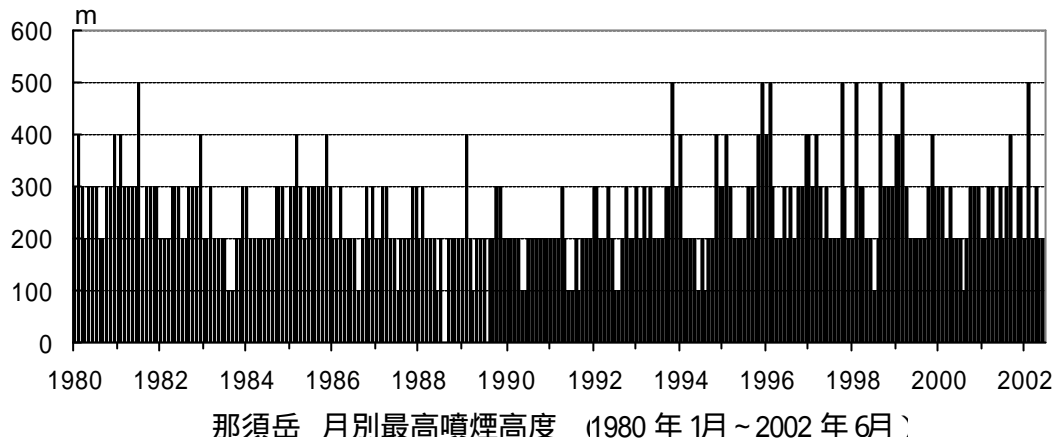
火山性地震日別回数表(那須岳)

上旬	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	旬計	
	2	1	5	0	0	0	0	1	0	2	11	
中旬	11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	旬計	
	2	0	5	0	1	2	1	0	1	0	12	
下旬	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日	30日	旬計	月計
	0	0	1	0	0	3	1	0	1	1	7	30



噴煙活動の状況

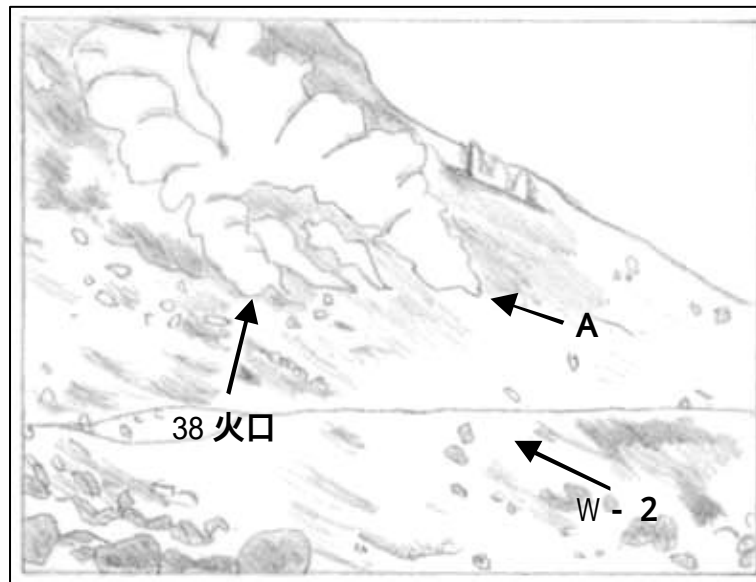
遠望カメラによる観測では、噴煙の高さは100~200mで、特に異常な変化はありませんでした。



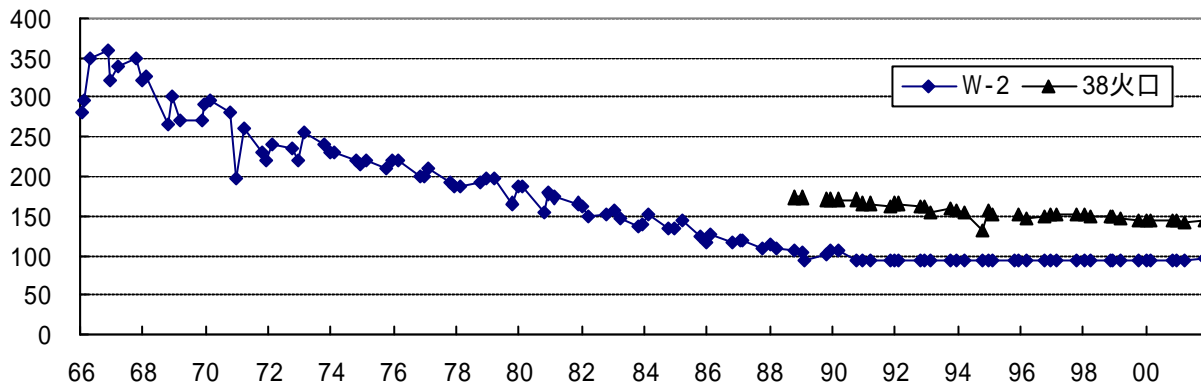
噴気地帯の状況

6月10日に西側斜面の噴気地帯で温度観測を実施しました。噴気地帯の斜面上部に位置する活発な噴気孔では、ゴーという噴出音を伴い噴気の高さは100mに達していました。赤外熱映像観測装置によると地熱温度は40を超え、噴気孔付近では100前後の値が観測されました。最も高い噴気温度が観測されたのは、下図のAで示した噴気孔で、150でした(サーミスタ温度計による)。継続して観測を行ってきたW-2、38火口の噴気温度はそれぞれ38、145でこれまでに比べ大きな変化はなく、落ち着いた状態で推移しています。

噴気地帯の観測は、次回は今年秋に実施する予定です。



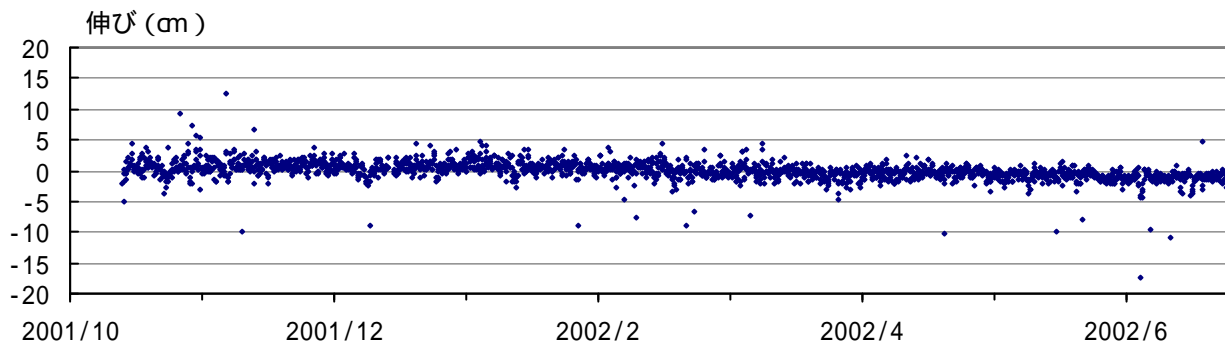
那須岳 西斜面噴気地帯



那須岳 西斜面噴気温度(1966年8月～2002年6月)

地殻変動の状況

GPS観測では、火山活動によるとみられる変化はありませんでした。



那須岳 GPS観測結果(2001年10月1日～2002年6月30日)
那須小学校 - 峠茶屋 基線長

